作成日 2000 年 03 月 18 日
改訂日 2024 年 02 月 25 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称：	フッソコート
製品コード：	FS-101
会社名：	株式会社ビアンコジャパン
住所：	京都市南区吉祥院長田町 47 番地
担当部門：	営業企画
電話番号：	075-693-5531（代表)
緊急時の電話番号：	075-693-5531（代表）
ＦＡＸ番号：	075-693-5522
メールアドレス：	bianco@biancojp.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：	洗浄・保護剤

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性：	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分 4

物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない」又は「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語： 警告

危険有害性情報：
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
水生生物に有害

注意書き：
【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【救急処置】
取り扱った後、手を洗うこと。
次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けて下さい。
（皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、
身体上の異常が生じた場合。）
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
【保管】
容器を密閉して、換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
【廃棄】
内容物/容器を廃棄する時は、関係法令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

国・地域情報：

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物

成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量(wt%)	化審法・安衛法 官報公示整理番号
① 炭酸カルシウム	471-34-1	25.0%	(1)-122
② HCFC-225	422-56-0 507-55-1	9.5%	(2)-3586／2-(13)-180 (2)-3587／2-(13)-179
③ 2-メチルペンタン 3-メチルペンタン 2,2-ジメチルブタン 2,3-ジメチルブタン	107-83-5 96-14-0 75-83-2 79-29-8	2.0%	(2)-6
④ ドライソルベント	8052-41-3	2.0%	-
⑤ AE	9002-92-0	2.0%	(7)-97
⑥ LAS	25155-30-0	1.5%	(2)-207
⑦ フッ素樹脂	-	1.0%	-
⑧ その他	-	12.5%	-
⑨ 水	-	44.5%	-

04. 応急措置

吸入した場合：　新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：　多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は､必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合：　多量の水で最低 15 分間は注意深く洗うこと。まぶたを開いて内側も洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：　水で口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護：　救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

05. 火災時の措置

消火剤：	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤：	情報なし。
特定危険有害性：	燃焼ｶガスには、一酸化炭素、硫黄酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特定の消火方法：	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護：	燃焼ｶガスには、一酸化炭素、硫黄酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

06. 漏出時の措置

人体に対する注意事項､保護具及び緊急時措置：	作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、ﾏｽｸ等)を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項：	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法：	少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

07. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
注意事項：	特になし。
安全取り扱い注意事項：	作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件：	屋内の通気のよい場所で容器を密閉し保管する。
安全な容器包装材料：	製品使用の容器に準ずる。

08. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：	日本産業衛生学会　（2012 年版）：未設定 ＡＣＧＩＨ　（2009 年版）：未設定
設備対策：	蒸気またはﾋｭｰﾑやﾐｽﾄが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸器用の保護具：	必要であればマスク。
手の保護具：	不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
眼の保護具：	側板付保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣等。
衛生対策：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取り扱い後はよく手、顔を洗い、うがいをする。

09. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	乳白色の液体
臭い：	殆ど臭気なし。
ｐＨ：	9.0±0.5（製品/25℃）
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	データなし
引火点	データなし
自然発火温度：	データなし
比重（密度）：	データなし
溶解度：	データなし
分解温度：	データなし
粘度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の取り扱いでは安定。
危険有害反応可能性：	自己反応性なし。
避けるべき条件：	情報なし
混触危険物質：	情報なし
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性：	製品としては特になし。
皮膚腐食性・刺激性：	区分2(炭酸カルシウム・直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸ｿｰﾀﾞ)
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	区分1(炭酸カルシウム)
発がん性：	データなし。
生殖毒性：	データなし。
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	データなし。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：	データなし。
吸引性呼吸器有害性：	データなし。

12. 環境影響情報

水生環境有害性：	急性区分4 直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸ｿｰﾀﾞが区分2 HCFC-225　LC50(48H)魚類(ﾋﾒﾀﾞｶ)　83.5mg/L(HCFC-225ca)
残留性/分解性：	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸ｿｰﾀﾞは区分外。 HCFC-225　活性汚泥で分解されにくい。
生態蓄積性：	濃縮性は低いと思われる。
土壌中の移動度：	データなし。
その他のデータ：	データなし。

13. 廃棄場の注意

残余廃棄物：	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。
汚染容器及び包装：	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMO の規定に従う。
航空規制情報	ICAO/IATA の規定に従う。

国内規制

陸上規制情報	消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上規制情報	船舶安全法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
航空規制情報	航空法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
特別安産対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）

①	第１種185号　HCFC-225	9.5%
②	第１種407号　AE(ﾎﾟﾘ(ｵｷｼｴﾁﾚﾝ)ﾄﾞﾃﾞｼﾙｴｰﾃﾙ)	2.0%
③	第１種　30号　LAS(直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸及びその塩(C=10-14))	1.5%

労働安全衛生法：　非該当
消防法：　非危険物
毒物及び劇物取締法：　非該当
その他の法令：　特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律（付属書 C グループⅠ）

16. その他の情報

参考文献

各原料の製品安全データシート
化学物質総合情報提供システム（ＣＨＲＩＰ）

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証も成すものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので、万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。また記載の注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、状況に適した安全対策を実施の上、充分な注意を払う必要があります。すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』と言う認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の、指導の下で取り扱うことを警告します。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。